

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年7月15日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

4日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	二宮町	代表者名	村田 邦子
担当者部署	総務部デジタル推進室	連絡先電話番号	0463-71-3316
担当者役職	副主幹	担当者氏名	岩崎 稔史
		連絡先E-mail	
住所	259-0123 神奈川県二宮町961		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	東 富彦
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	1回目の研修に続き、講師ご自身がデジタル推進監を勤めている大分県中津市様の取組みを例に挙げていただきながら、DXを推進するためのポイントや段階的にDXを進めていくこと、デジタルブロックを組み合わせることで新たな価値が創造されることなどを丁寧に説明していただいた。他自治体の事例を挙げて説明をしていただくことやまた、アドバイザーと中津市様のご厚意により、直接市職員の方からも話をさせていただく機会を設けていただいたことで多くの職員にとって「DX」が身近なものとして理解が進んだと思います。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年6月27日	講演	有	令和4年6月8日	42
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和4年6月27日	講演	13時30分	16時00分	0
				活動時間（分）	150

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	214人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	今後、本町がデジタル化を進めていくには、個々の職員が当事者意識を持ち、且つ前向きに取り組むことが必要不可欠なことである。全庁的にデジタル化への機運を醸成していくために行う職員研修について、町のこともご理解をいただきながら、専門家のアドバイスを受け、効果的なものになりたい。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	職場全体の機運を高め、デジタル化に対して前向きな組織になる。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	「DX推進における3つのポイント」、「日常生活ですぐに使える便利なサービス」、「デジタルブロックを組み合わせる」、「大分県中津市様の取組み」の項目について、ポイントを押さえ、丁寧に説明していただいた。試行錯誤をしながら着実に、かつ段階を踏みながら進めていくことの重要性を事例を交えてご説明いただいた。研修の質疑応答については匿名フォームで質問ができるようにしていただくなど、受講する側への配慮もしていただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容	今回の研修は「DXのマインドセット」が目的でした。DXへの理解という点では確実に多くの職員に対してマインドセットができたと思います。また「DXを進めていくために何をすればいいか、何	

(具体的にご記入下さい)	<p>に対して「スマートフォンができてきたし嬉しいです。また「レベルを上げていくために何をすれば良いか、何から手を付けていけば良いか」といった点についてもヒントをいただける内容だったので今後、本町でDXを進めていく上で参考になる貴重な機会だったと思います。</p>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<p>職員DXに関する基礎知識の獲得や意識の醸成</p>	
アンケートの内容と分析結果	<p>受講後のアンケート結果では職員の中でも世代間でDXへの意識に対して多少の開きがあった。またDXを推進していけるのか不安な意見も一定数あった。これを解消していく(より意識を高めていく)ためには継続して研修を実施していくことや小さいことでも成功体験を積み重ねて共有すること、経験から学んでいく必要性を感じた。本町で小さいことでも具体的な取組みを進めて経験を積んでいくことで職員にとってはデジタルがより身近なものになっていくよう取組んでいきたい。</p> <p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>分析は、上記のとおり。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	<p>DXに対して当事者意識を持つこと。 DXに取組むことについて前向きな組織となること。</p>	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。

なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



